

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2013.2.21 No.106

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

区議会第一回定例会で一般質問 保育待機児童問題大争点に 認可保育所の増設を



パネルを示して質問
(上) 傍聴には、大勢
の保護者も駆け付け
てくれました(右)



保護者の切実な訴えが世論を動かし始めた

区議会第一回定例会で一般質問し、保育待機児童問題、認可保育所大幅増設について取り上げました。

杉並区では、今年四月に認可保育園に入園できない保育待機児童が一八〇〇名を超えています。極めて深刻な状況で、多くの保護者が連日、区役所に詰めかけ、切実な声を上げています。

杉並区内の保護者の実態や抗議行動は、連日マスコミが取り上げ始めており、保育待機児童問題への関心が高まっています。

質問では、保護者の生の声を取り上げ、認可保育園の大幅増設と、四月入園の受け皿を区が責任を持って確保するよう求めました。

みなさんの傍聴、ありがとうございました!

質問が東京新聞に掲載



杉並区の待機児童問題については、連日メディアが大きく取り上げています。党区議団にも取材が相次いでいます。私の質問も「東京新聞2月21日付・一面」に取り上げられました。世論も力に、認可保育所的大幅増設を実現するために全力を尽くします!

区は保護者の声に応えよ

質問に対する田中区長の答弁は、保護者の深刻な実態への認識が浅く、具体的な対策を示さない等、不十分な内容でした。

しかし、その一方「状況に即した保育施設の整備をしっかりと進める」と答弁。答弁通り「待機児童が深刻な状況となっている現状に即した」施設整備を進めることが求められます。

多くの保護者は、四月入園が出来なかった場合は、「職場を退職する」「実家に長期間、子どもだけを預ける」「一時保育を転々とする」など、悲惨な状況に置かれます。引き続き、緊急対策を要請します。

現地実態調査を元に 上井草駅南北交通問題の解消を求める

**現地での実態調査・危険事例を紹介
杉並区 西武鉄道へ跨線橋設置求める**

一般質問では、上井草駅周辺の南北交通問題についても取り上げました。多くの沿線住民から、上井草駅の踏切問題を解消してほしいという声が上がっています。

今後、連続立体交差事業での解消が図られるとしても、長い期間を要するもので、住民の要望は、速やかな改善を求めています。

質問では、この間、実施した踏み切り調査を紹介（週刊ニュース一〇二号に掲載）。危険な横断事例などが多発していることを取り上げ、区の速やかな実態調査と西武鉄道への跨線橋設置の要請、南北自由通路の設置を求めました。

区は「西武鉄道への要請を行なう」と答弁をしましたが、西武鉄道は「連続立体交差事業で解消が図られる」としています。実現させるための本気の取り組みが必要です。

質問はホームページに掲載しています



片側遮断機が閉まっても横断者が続く危険な実態もパネルで紹介

外環の2地上部街路問題

外環道に関する一般質問では、

- ◇ 「外環の2地上部街路の話し合いの会」の議事進行の問題を早期に改善すること。
- ◇ 沿線住民の大勢は、地上部街路への明確な反対の姿勢であることを示し、区として住民意見を汲み取ることが必要。

などの点について、区の見解を求めました。

育メン日誌

区議会議員も保育待機児童に…

杉並区の認可保育所不足は深刻です。現職の区議会議員も、公平公正な選考によって待機児童の親となります。

党区議団の原田あきら区議（幹事長）も例外ではなく、現在、必死に認可外保育所などの空き枠を探しています。残念ながら、どこも満員…。絶望的な状況です。今後の議員活動にも支障をきたすので、党区議団としても深刻な事態となっています。

今後、多くの保護者のみなさんと連帯し、保育所増設に取り組みます。

私にとっても事態は深刻で、二人目の子どもが産まれた後、保育園に入園出来る可能性は極めて厳しい状況です。

「少子化問題」などと言いながら、保育園が不足し、親が子どもを持つことをためらう社会…。全くおかしな話です。政治の責任が厳しく問われます。



コンビニの数ほど保育所を！

保育待機児童問題 保護者の実態、涙の訴え

杉並区の保育待機児童の保護者の実態は、各メディアが連日、大きく報道しています。確認しているだけでも、東京新聞、テレビ東京、TBS、テレビ朝日。今後、NHKやフジテレビなどでも放送が予定されているそうです。

保護者の深刻な実態と共に、保育待機児童問題



は女性の社会進出を妨げる人権侵害でもあります。

世代を超えた連帯で保育行政を改善する必要があります。

区役所前に大勢の保護者が集まりました（上）保護者の涙の訴えは、多くの聴衆の胸を打つ内容でした（右）同じ子育て世代として、私も全力で支援します。



各メディアが連日の報道